

西の丸御蔵城宝館展示

表書院の障壁画—めずらしい動物—

開催要項

1. 名称

西の丸御蔵城宝館展示 「表書院の障壁画—めずらしい動物—」

2. 趣旨

名古屋城本丸御殿の室内は、御用絵師である狩野派の障壁画によって彩られました。寛永11年（1634）の増築部分を含む現存する本丸御殿障壁画のうち、今回は表書院の障壁画とそれに関連する資料を公開します。

表書院の障壁画には、三之間の麝香猫^{じゃこうねこ}や上段之間の吐綬鶏^{とじゅけい}など、主に中国からもたらされた珍しい動物が描かれていました。時の権力者たちはこのような舶来品に関心を寄せており、絵画の画題として広く用いられました。

時を経て、舶来品は明治時代の博覧会にも出品され、「博覧会諸人群集之図」（名古屋城振興協会所蔵）には市井の人々も珍しい動物を鑑賞していた様子が描かれます。

本展では、異国の動物が集う空間をお楽しみいただきます。

3. 主催

名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

4. 協力

一般財団法人 名古屋城振興協会

5. 会場

名古屋城 西の丸御蔵城宝館（名古屋市中区本丸1番1号）

6. 会期

令和7年（2025）7月18日（金）～令和7年（2025）8月31日（日） 45日間

会期中無休（ただし、催事等に変更になる場合があります。）

※展示状況は、ホームページ掲載の出品目録にてお知らせします。

7. 開館時間

午前9時～午後4時30分（最終入館午後4時）

8. 観覧料

無料

※名古屋城観覧料 500 円（名古屋市内在住 65 歳以上 100 円・中学生以下無料）が必要です。

9. 主な出品資料

重要文化財 名古屋城本丸御殿障壁画 表書院三之間「麝香猫図」 慶長 19 年(1614)

重要文化財 名古屋城本丸御殿天井絵 上洛殿一之間「猿図」 寛永 11 年 (1634)

名古屋城ガラス乾板「表書院上段之間東側帳台構(焼失)」 昭和 15～16 年(1940～1941)

いずれも名古屋城総合事務所蔵

10. 担当

〒460-0031

愛知県名古屋市中区本丸 1 番 1 号

名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

学芸員 渡野 りつ佳

TEL:052-231-2481 FAX:052-218-5335